

工事施工現場における 意見交換会を実施しました

越美山系砂防事務所では、砂防堰堤等の設計の品質を高めることを目的に、工事施工業者・コンサルタント・発注者(当事務所)の三者が、施工現場において施工方法等について議論する意見交換会を実施しました。

日 時 平成29年7月27日(木)
13:30~17:00

現 場 高地谷第1砂防堰堤
品又谷第1、第2砂防堰堤

意見交換会の内容

- ・設計における仮設の考え方
- ・受注者による仮設工の施工
- ・発注者の設計についての考え方



吉野所長からのコメント

生産性の向上のため設計の問題点について施工者、建設コンサルタント、発注者の三者において現場を見学し、より良い設計施工に向けて意見交換会を行いました。



コンサルタントからのコメント

- ・施工業者が必要なものやコンサルの中で不足している仮設計画等が明らかになったと感じた。この意見交換会の経験を生かしたい。

施工業者からのコメント

- ・施工者として現場の「意見・考え方」を伝えることができ、お互いに設計思想と現場施工の違いを認識でき、非常に有意義な意見交換会だった。

結 果

- ①三方良しの生産性の向上
 - ②設計情報の共有
 - ③作業ステップ毎の仮設計画
 - ④安全対策を考慮した仮設計画
 - ⑤現場をよく知る
 - ⑥現場推進会議の活用
 - ⑦水替工の仮設計画
- 話し合いの結果、上記の事を三者で確認した。

【問合せ先】

〒501-0605 岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺137番地
国土交通省 中部地方整備局 越美山系砂防事務所 片桐
E-mail : cbr-etsumikouhou@mlit.go.jp
TEL : 0585-22-2161



第1回工事施工現場における意見交換会 参加者アンケートまとめ

越美山系砂防事務所では、砂防堰堤等の設計の品質を高めることを目的に、工事施工業者・コンサルタント・発注者(当事務所)の三者が、施工現場において施工方法等について議論する意見交換会を高地谷第1砂防堰堤工事現場にて実施しました。

建設コンサルト様に頂いたアンケートの取りまとめ結果を公表させていただきます。参加者24名中16名の方よりアンケートを頂戴しました。

※代表的なご意見を掲載しています。

①意見交換会で参考となった内容を記入してください。

- ・ 施工中の現場を見学でき、現地状況を確認できた
- ・ 高地谷の掘削状況や品又第1の水替え工は図面を書く時のイメージと現地状況のイメージを一致させる事ができた
- ・ 仮設工の段階的な考え方、砂防堰堤だけでなく全ての工事に共通すると感じた
- ・ 施工業者からの意見、コンサル他社からのどこまでのステップを成果としているかとの意見を伺えた
- ・ 施工計画の着目点が理解できた

(越美より)

頂いたご意見を参考とし、今後の意見交換会の参考にさせていただきます。

②意見交換会で参考とならなかった内容を記入してください。

該当なし

③今後の砂防工事の勉強会で希望する現場を記入してください。※複数回答

溪流保全工－6

流木対策工－8

管理用道路－5

堰堤工事－7

その他(工事用道路－1、安全対策－1、既存施設の修繕－1)

(越美より)

頂いたご意見を参考とし、今後も様々な意見交換会を企画していきたいと思っております。

④開催時期・工程等について要望はありますか？

- ・ 繁忙期前の10月
- ・ 繁忙期を避けた春先から夏場過ぎまで
- ・ 現場監督等が設計者に見せたい時期
- ・ 4月～11月の間
- ・ 7月(今回の時期)

- ・年度前期が望ましい

(越美より)

現場の工事の進捗状況に合わせて開催していく予定です。

⑤参加対象者について希望はありますか？ ※複数回答

- 管理技術者－ 5
- 若手職員－ 8
- 会社希望者全員－ 4
- その他（今回程度の人数制限－ 2）

(越美より)

参加対象者は限定していませんが、設計に携わる技術者の積極的な参加をお待ちしています。

⑥その他あれば記入して下さい。

- ・今後も同様の意見交換会を計画してほしい
- ・施工者双方の相違点を論議すればさらに盛り上がる
- ・事前に資料があれば、事例確認しながら的確な質問の準備が出来る
- ・設計段階では施工時のような掘削後の状態と違い現場と異なる事がある為、理解頂きたい
- ・新工法採用現場があれば見学したい
- ・現場が実施しているところが見たかった（打設、ワイヤー打設、ロックライミング工法）

(越美より)

今後もいただいたご意見を参考とし意見交換会を計画して参りたいと思います。

【考 察】

- ①三方良しの生産性の向上が必要
- ②設計情報の共有を図る
- ③作業ステップ毎の仮設計画を検討する
- ④安全対策を考慮した仮設計画を検討する
- ⑤現場をよく知る
- ⑥水替工の仮設計画と現場との整合が必要

【施工業者からのコメント】

平成 28 年度越美山系高地谷第 1 砂防堰堤工事

代表工種：砂防堰堤工事（インセム工法）

【西濃建設株式会社 監理技術者：立川 雄一様】

施工者として現場の「意見・考え方」を伝えることができ、お互いに設計思想と現場施工の違いを認識でき、非常に有意義な意見交換会だった。

第1回工事施工現場における意見交換会 参加者アンケートまとめ

アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。
取りまとめ結果を公表させていただきます。

※頂いたご意見全てを掲載しています。

①勉強会で参考となった内容を記入してください。

- ・ 施工中の現場を見学でき、現地状況を確認できた
- ・ 高地谷の掘削状況や品又第1の水替え工は図面を書く時のイメージと現地状況のイメージを一致させる事ができた
- ・ 仮設工の段階的な考え方、砂防堰堤だけでなく全ての工事に共通すると感じた
- ・ 設計段階では気づかない施工段階とその施工方法等
- ・ 現場でのトラブルやその対処法
- ・ 当所設計段階と比べ工事時の変更対応が多くあることを知った
- ・ 施工業者からの意見、コンサル他社からのどこまでのステップを成果としているかとの意見を伺えた
- ・ 設計時と施工時の仮設状況の違い
- ・ 施工者、設計者とでは求められる内容の“濃さ・方法”に違いがある
- ・ 安全管理（休憩施設ほかを安全な場所に構築）
- ・ 転流工（ポンプ、暗渠排水）
- ・ 付替え水路（高さの取り合い他）
- ・ ワイヤソーのカット面
- ・ 施工計画の着目点が理解できた
- ・ 仮設計画の設計から変更点、仮設規模
- ・ 多くの同業他社の意見や考え方が聞けた

②勉強会で参考とならなかった内容を記入してください。

- ・ 現場が実施しているところが見たかった
(INSEM打設、ワイヤソー打設、ロックライミグ工法)

③今後の砂防工事の勉強会で希望する現場を記入してください。

※複数回答（16人中）

- 溪流保全工－6
- 流木対策工－8
- 管理用道路－5
- 堰堤工事－7
- その他（工事用道路－1、安全対策－1、既存施設の修繕－1）

④開催時期・工程等について要望はありますか？

- ・ 繁忙期前の10月
- ・ 解散時間がもう少し早いといい
- ・ 繁忙期を避けた春先から夏場過ぎまで
- ・ 現場監督等が設計者に見せたい時期
- ・ 4月～11月の間
- ・ 7月（今回の時期）
- ・ 年度前期が望ましい

⑤参加対象者について希望はありますか？ ※複数回答（16人中）

- 管理技術者－5
- 若手職員－8
- 会社希望者全員－4
- その他（今回程度の人数制限－2）

⑥その他あれば記入して下さい。

- ・ 今後も同様の見学会を計画してほしい
- ・ 「実際の工事で行った施工計画図」の公開
- ・ 施工者双方の相違点を論議すればさらに盛り上がる
- ・ 次回開催のお知らせ方法（事務所HP?）
- ・ コメントの機会が2現場あったが運営上全現場で全社に行き渡る程度でよい
- ・ 管理用道路、工事用道路の工事に関する勉強会
- ・ 事前に資料があれば予備知識を携え、若手技術者は理解が深ま。
また、事例確認しながら的確な質問の準備が出来る
- ・ 設計段階では施工時のような掘削後の状態と違い現場と異なる事がある為、
理解頂きたい
- ・ 設計と異なる仮設備とした場合、現場では変更結果しか分からない為、施工時
に具体的な説明がほしい
- ・ 施工途中段階において設計コンサル以外の技術者も参加した意見交換・議論を
行う場があってもいい
- ・ CPD認定プログラムにするか、（オリジナルの）受講証明書の配付があると
いい
- ・ 新工法採用現場があれば見学したい
- ・ 前もって現場案内地図等があるとよい